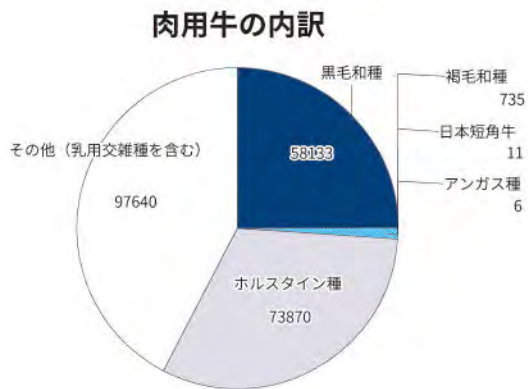
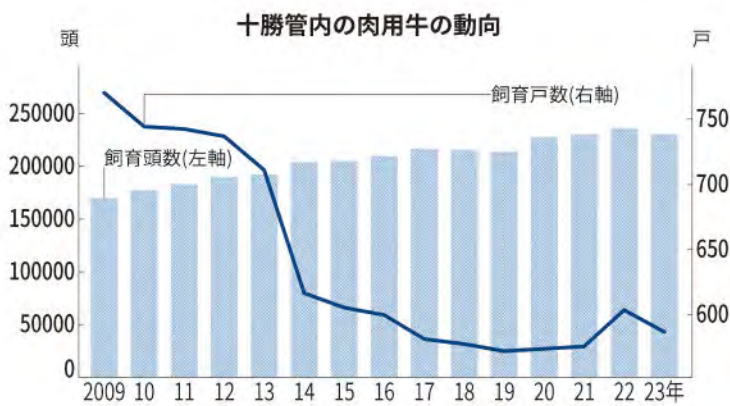




**肉牛**  
[BEEF CATTLE]

**物価高で消費低迷  
自給飼料でコスト対策**

消費低迷など厳しい環境下、飼料自給率の向上など自衛策が広がる



十勝農協連「令和5年十勝畜産統計」より

十勝農協連の調査によると、管内の肉用牛は2023年12月時点で23万395頭で、前年より2.4%減少した。メインの黒毛和種は5万8133頭で4.7%減り、うち繁殖用雌牛は6.7%減、未經産牛は18.1%減と前年を大きく下回った。肉用のホルスタイン種は7万3870頭で5.7%減少した。子牛や枝肉の販売価格は低迷が続く。十勝市場の黒毛は9月、雌の平均価格が前年より1万3000円安い47万1000円、去勢した雄は1万6000円安の60万2000円を付けた。

物価高に給与改定が追い付かず、消費の流れが比較的安価な鶏肉や豚肉に移っていることが背景だ。過去2年の生乳の生産抑制から、受精卵移植(ET)によって乳牛の代わりに和牛の子を生ませる酪農家も少なくなく、和牛の供給が増えていることも要因と言われている。

畜産農家にとっては配合飼料や輸入粗飼料の高騰などコスト高も悩みの種だ。酪農分野ではデントコーンを使った自給飼料体制が進んでいて、肉用牛においても耕畜連携などが叫ばれ始めている。

27年の第13回全国和牛能力共進会(和牛全共)北海道大会まで残り3年となり、本年8月は北海道和牛振興協議会(宮前裕治会長)の決起大会が音更町内で開かれた。和牛のオリンピックに向けて関係者約450人が出席し、「てっぺん目指して頑張ろう」と三唱し士気を高めた。

音更町では、ホクレン(篠原末治会長)の十勝地区家畜市場新築・移転工事が着々と進む。鉄骨造、一部2階建て、延べ2万4000平方メートルの規模で、現市場より120頭多い1日1400頭の受け入れが可能となる。利用開始は25年4月の予定だ。

## 次世代型活性酵母 【A 飼料】

# ビスタセル®

成功に導く  
パフォーマンス

- 繊維分解菌の増殖促進
- 乳酸産生菌の減少
- VFA 産生量が増加し生産性が向上

**vistacell**  
Yeast technology  
powering performance

TOA BIOPHARMA CO., LTD.

生菌入り混合飼料

**A 飼料**

### ビオスリー® エース タブレット 70粒

1粒にビオスリーエース 30g分の3菌を含有

生菌入り混合飼料

**A 飼料**

### ビオスリー® エース

■ 消化機能障害治療剤 動物用医薬品

## ビオパコ®

**【効能・効果】**  
 消化器疾患、消化器衰弱、食欲不振  
 食欲不振における症状改善  
 消化不良、単純性下痢

”輝く明日を、腸から” **東亜薬品工業株式会社** 〒151-0073 東京都渋谷区笹塚2-1-11  
 ☎ 03-3375-0511 <https://animal.toabio.co.jp/>